

有害プランクトン情報 (平成 30 年度 - No. 8)

千葉県水産総合研究センター
東京湾漁業研究所
千葉県農林水産技術会議

水産総合研究センターは東京湾でプランクトン調査を行っています。プランクトンの種類や密度によっては、魚類や二枚貝などに影響を与えるので、毎月 1 回有害プランクトンの出現状況をお知らせします。

○ 調査日	沖合	11 月 第 1 回	内湾 (8 地点)	11/5	内房 (7 地点)	11/5
		11 月 第 2 回	内湾 (8 地点)	11/19	内房 (7 地点)	11/21
	貝類漁場内	—				

【有害プランクトンの出現状況】

- シャットネラ属, シュードシャットネラ属, ヘテロシグマ属, カレニア属は確認されませんでした。
- 赤潮 (透明度 1.5 m 以下, pH8.5 以上, 酸素飽和度 150% 以上) は確認されませんでした。
※ シャットネラ属は 1 細胞/mL, ヘテロシグマ属は 1000 細胞/mL, カレニア属は 100 細胞/mL を超えた場合に注意報を発出します。

【貝毒プランクトンの出現状況】

- 麻痺性貝毒原因プランクトンの最高密度は、アレキサンドリウム属類似種が 11/5 に富津で 0.60 細胞/mL でした。
- 下痢性貝毒原因プランクトンの最高密度は、ディノフィシス アキュミナータが 11/5 にアクア北で 10.40 細胞/mL でした。なお、同種は 5/22 に羽田沖で 19.35 細胞/mL まで増加しましたが、被害情報はありませんでした。他種はディノフィシス カウダータが 11/5 に盤洲北及び富津で 0.10 細胞/mL, ディノフィシス ロツンダータが同日にアクア北で 0.75 細胞/mL でした。

(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

○ 各海域で見られたプランクトンの優占種

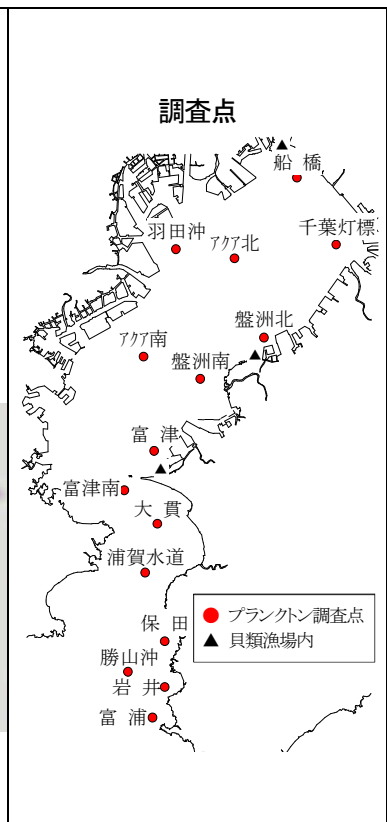
- | | | | | |
|-------|----|------|---------|--------------|
| 11/5 | 内湾 | 渦鞭毛藻 | アカシオ | サングイネア (図 1) |
| | | | ケラチウム | フルカ (図 2) |
| | | 珪藻 | タラシオシラ属 | |
| | 内房 | 渦鞭毛藻 | ケラチウム | フルカ |
| | | 珪藻 | キートセロス属 | |
| 11/19 | 内湾 | 珪藻 | スケルトネマ属 | |
| 11/21 | 内房 | 同上 | | |



図 1 アカシオ サングイネア (11/5 富津)



図 2 ケラチウム フルカ (11/5 富津)



連絡先 : 千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所

〒293-0042 富津市小久保 3091 TEL 0439-65-3071 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp